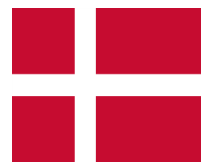




JUN SEI EN

潤生園通信



平成26年 10月

デンマークの方々が潤生園に見学にご利用くださいました。午前中は時田理事長のプレゼンテーション、午後は事業所見学を致しました。



デンマークの方々からの

ないサービスを新たに創設している潤生園の「困っている人のために」という精神を私たちも学び、デンマークで活かしていきます。「人は人として存在するだけで尊い」この言葉に感動しました。

デンマークでは、介護食はなく、ミキサーで砕いただけのもので、形や香りまでこだわっている潤生園の配慮に相手の人権を尊重する姿勢を感じました。

今、デンマークは財政面と人手不足が大きな問題となっています。お金があるからやるのではなく、多くのボランティアの人、また、潤生園のボランティアの精神によって地域包括ケアシステムを進めていることに感動しました。

建物がとてもきれいでした。日本は営利のために介護の仕事を行っているというイメージがありましたので、営利ではなく、人のためという考え方にびっくりしました。

機械でのリハビリばかりイメージしていましたが、楽しみながら手芸をしたり、生活の中で、あえて段差がある場所を通ったり、生活に密着したリハビリがあるのだと、視野が広がりました。また、家具も新しいものを入れるのではなく、あえて古いものを入れて、ご利用者がリラックスできる環境を整え、配慮していることにすごいと思ひ

デンマークでは、在宅の看取り、特にホスピスでの看取りを奨励しています。管をつけず、最後まで口から食べ、人間らしく、人権の尊重をし、自然の看取りを潤生園が実践していることは素晴らしいと思ひます。



時田理事長のプレゼンテーション
れんげの里にて